

令和5年度大阪府委託訓練事業（離職者等再就職訓練）に係る 大阪府公募型プロポーザル方式等事業者選定委員会 議事要旨

1 日 時

令和5年6月5日（月曜日） 午前9時30分から午前10時30分まで

2 場所

オンライン開催

3 対象事業

離職者等再就職訓練（知識等習得コース、企業実習付コース）に係る事業者選定

4 選定委員

中島 康之（大阪府社会保険労務士会）

長町 理恵子（追手門学院大学経済学部）

池内 宏行（独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構大阪支部）

塚本 文彦（独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構大阪支部
近畿職業能力開発大学校）

5 審査方法

令和5年度大阪府委託訓練事業（離職者等再就職訓練）企画提案公募要領記載の審査基準に基づき、4名の選定委員会委員が書類審査を行い、令和5年度大阪府委託訓練事業（離職者等再就職訓練）企画提案公募要領の6の(2)審査基準の配点に基づき採点・評価した。

6 議事概要

令和5年度に実施する大阪府委託訓練（離職者等再就職訓練）の実施事業者を選定するため、企画提案公募を実施し、応募のあった事業者の企画提案についてその内容を選定委員会で評議するとともに、得点の高い順に公募科目に応じて選定した。

7 選考委員発言等要旨

カリキュラム内容、就職支援内容の評価、採点にあたっての考え方等について意見があった。

- ・事業者の提案は全体的に良く書かれており、分かりやすい提案が多かった。
- ・常勤、非常勤の労働形態に関わらず、サポート体制がしっかりしているところは、支援体制が整っていると期待して評価した。
- ・デジタル人材の科目は、Web系、デザイン系、プログラム系など多岐にわたっており、そのカリキュラム内容も様々であることから、就職後の定着の工夫点がしっかりなされているかの観点に重きを置いて評価した。
- ・一部の提案書で、府が求めている提案の趣旨とは異なる内容の提案が見受けられた。様式の変更や注釈等の記載内容について、改善を図っていただきたい。